

行ってこーわい 会ってこーわい

「渡部 四郎さん」

マスターズ陸上
61歳で世界の頂点に立つ



世界マスターズ陸上競技選手権大会。誰もが1度は聞いたことがあるこの名だたる大会で優勝し、世界1位となった選手が松前町内にいます。

渡部四郎さん＝北川原＝。10月26日から11月6日までオーストラリアで行われた同大会で、「M60 (60～64歳クラス) 4×100mリレー」に出場。第1走者として、日本チームの世界一に貢献しました。「個人のタイムでは、ドイツには勝てなかったんです」と話す渡部さん。しかし、「リオオリンピックでの男子リレーの姿を励みにしました」と話すように、巧みなバトンパスで、個の力に競り勝ちました。「第4走者がゴール前ギリギリで抜き去って優勝しました。その様子がドラマチックで、目に焼きついています」と、渡部さんもその劇的な勝利の様子を熱く話します。

25年近く中断をしていた陸上を再開した52歳からはや9年。「年をとっても続けられる陸上競技という私の趣味は、職場の仲間、そして家庭環境にも恵まれた」と話す渡部さんは、今でもシーズン中には週5日の練習に励んでいます。「個人種目は自己記録の維持向上というストイックな面ばかりですが、リレーはバトンをつなぐ楽しさがあります。これからも仲間と一緒に陸上を続けていきたい」とほほ笑む渡部さん。「できる人間ができる時にできる事を一生懸命してベストを尽くす」と誓う渡部さんの陸上人生は、これからも快走を続けます。



1 12月6日、その功績をたたえ、松前町表彰が行われた。写真左から2番目が渡部さん 2 レース後、国旗を掲げ、勝利を喜びリレーメンバー。写真左が渡部さん

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

最近自分が、〇〇した「つもり」になっていることに気付きました。たまに運動している「つもり」が、健康診断では「もっと運動しましょう」と書かれ、電話した「つもり」が、できていなかったり…。

「〇〇のつもり」ではなく、しっかりと目標を掲げ国体やマスターズのため頑張る選手のように、今年1年、気持ちを新たに頑張りたいなと思います。

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ、「えひめ」国体の開催年を迎えました。皆さんが参加して「まさき」国体を盛り上げていくためにも、今月号の特集は、見逃し厳禁です。要チェックです。

また、新たな取り組みとして、町公式フェイスブックを開設しました。「広報まさき」に加えて、積極的な情報発信を行っていきます。皆さんからの「いいね」をお待ちしています。

(蔭谷)

Proud! Japan

※日本水産加工振興会より

アイス サンタ 検索

広告

有料広告募集中

掲載場所 裏表紙の最下段
 広告料 20,000円/枠 (1カ月)
 大きさ 縦40ミリ×横60ミリ
 カラー フルカラー

問 総務課広報情報係 ☎ 985-4132